

令和6年第3回西之表市議会定例会

所信表明並びに提案理由説明



おはようございます。

本日、ここに令和6年第3回西之表市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご出席くださいます、誠にありがとうございます。

まず、8月末に襲来した非常に強い台風10号の被害状況について、まだ調査中のものもありますが、現在確認できている主なものについてご報告いたします。

民家や店舗等で建物の一部損壊や空き家の半壊が確認されていますが、人的被害の報告はございません。市道・農道等一部決壊や倒木、がけ崩れ、学校施設や社会教育施設等で雨漏りや雨水浸水、一部破損などが確認されています。市民生活に影響をきたさないよう一刻も早い復旧に努めて参ります。

農作物の被害状況については、さとうきびは葉先の裂傷があったものの、ほぼ一定方向の倒伏であったため、折損が少なく、今後順調に回復すれば生産量への影響は抑えられると見込んでおります。この他の作物等につきましても大きな被害の報告はないという状況であります。

次に、お礼とご報告を申し上げます。

8月25日に行われた鉄砲まつりは、関係者のご協力を賜り盛大に実施することができました。誠にありがとうございました。全国的にも猛暑が続いている中、姉妹都市をはじめ、多くの来賓の方々においでいただき、あらためて感謝の意を表するところです。祭り参加者と観覧者数も午前中の太鼓山（約1,500人）・午後の南蛮行列（約2,000人）を合わせ約3,500人、夜の演芸大会が約8,000人と、この鉄砲まつりで延べ11,000人以上、昨年を上回る来場客数となったようです。

演芸大会では、全国の花火師による色とりどりの花火、小さな子供達から高齢の方まで、幅広い世代が楽しめるプログラムを取り入れたことで、大変好評だったと感じているところです。

今年で55回を迎えた祭りでしたが、今後も先人から受け継いだ思いをしっかりと引継ぎ、後世に残していけるよう、これからも鉄砲まつりの取り組みを充実させていきたいと考えています。

その他の行事については、7月15日の「海の日」に、「ビーチクリーンアップ(海岸清掃)」を昨年に引き続き、市内7か所の砂浜

を中心に実施しました。市民の皆様や市内の建設業の皆様にもご協力をいただきましたことに感謝を申し上げます。

教育委員会関係では、7月21日、しおさい留学生の交流会を開催しました。漁船でのクルージングや魚釣りを通して、種子島ならではの体験活動をしました。この交流会で留学生同士の交流も深まり、留学のアピールにつながればと考えております。

次に、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果が7月に発表されました。子供たちや先生方の頑張りもあり、小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語と算数・数学で行われましたが、全ての教科で国の正答率を上回ることができました。

7月23日に開催予定であった「第32回われは海の子黒潮の子浦田遠泳大会」は大会に向けた試泳中に、伴泳者として参加してくださったご家族の方が、お亡くなりになるという痛ましい事故が起こってしまいました。ご家族の皆様の悲しみを思い、心からお悔やみ申し上げます。

スポーツ関連では、7月に第65回県民スポーツ大会熊毛地区大会が1市3町で開催され、本市は、男女合わせて13の競技で優勝いたしました。

8月2日から5日にかけて、第34回長浜市・西之表市少年スポーツ交流事業が行われました。長浜市スポーツ少年団員8名が本市を訪問し、本市スポーツ少年団員宅にホームステイをして、島内観光やマリンスポーツ体験などを楽しみ、交流を深めました。

8月19日から22日にかけて、第15回全国離島交流中学生野球大会が長崎県壱岐市で開催され、本市から種子島中学校野球部16名が参加しました。1回戦で惜しくも敗れたものの、全国の離島中学生と野球を通じて交流が図られました。

このように社会活動が取り戻されるなか、新型コロナウイルス感染症は西之表保健所管内では、7月の各週において感染者が100人を超える状況となりました。そのうち、感染者数は減少してきております。5類移行後ではありますが、市民の皆さまには引き続き、場面に応じた感染対策にご協力いただきますようお願いしたいと思います。

次に、農業・畜産の状況についてであります。

まず、基幹作物であるさとうきびにつきましては、収穫予定面積が705（705.32）ヘクタールと昨年度（688.76ha）

と比較し16（16.56）ヘクタールの増となっており、生産量及び粗生産額の増加を期待しているところでございます。

次に、さつまいもにつきましては、作付面積350ヘクタールと昨年度と比較し25ヘクタールの減となりましたが、サツマイモ基腐病の発生状況が昨年度並みに低い発生率で推移していることから、反収の確保を期待しております。

畜産につきましては、飼料価格等の高騰が続いていることに加え、子牛相場も低調であることから、経営が大変厳しい状況となっております。喫緊の対応として本市独自の支援策を行ってまいります。

去る8月19日に開催された西之表市畜産共進会には、よく手入れされた素晴らしい牛が多く出品されました。団体総合の部では現和校区が優勝、グランドチャンピオン賞は、伊関校区の杉直樹さんの「5すぎ45号」が受賞されました。9月4日に行われます熊毛郡畜産共進会には、杉直樹さんの「5すぎ45号」を含め本市代表として11頭が出品されます。畜産農家・関係機関の皆様には上位入賞に向け、一致団結して、さらなるご精進を賜りたいと存じます。

次に商工業の状況についてであります。

最近では、商圈人口の拡大による収益機会の増加はありますが、一方で、金融環境の変化も著しく、原油、物価高騰の影響と併せ、市内の中小事業者の経営負担は増加しています。

地域内の様々な循環構造を見直し、域内での仕組みを構築すべく、デジタル地域通貨を導入して参ります。

今後、事業者の皆様はじめ、校区を中心とした市民の皆様で、話し合いながら、より良い仕組み構築が図れればと考えています。

ふるさと納税の推進については、西之表市生まれの仔牛のブランディング事業を推進して参ります。その一環として、地元産をなかなか食する機会の少ない子供たちを中心に食してもらい、改めて地元産の肉の評価を確認し、情報発信することを考えています。

8月8日、日向灘を震源としたマグニチュード7.1の地震により、国から南海トラフ臨時情報「巨大地震注意」が発表され、15日に解除されました。南海トラフ地震については、今後30年以内に70～80%の確率で発生するとされています。いざというときの為、普段から避難経路の確認や避難時の準備など、地震・津波への備えなどの確認をしていただ

きたいと思います。

馬毛島問題についてです。

私は、2021（R3）年1月（31日）の選挙において、2期目のかじ取りをまかされました。前年の10月、馬毛島への自衛隊施設整備に対し「同意できない」旨の所見を公表した上での選挙戦でした。その翌月、国においては、環境アセスを開始（2021.2.19）し、地元においては、種子島1市2町の議会が馬毛島への自衛隊施設整備・運用を推進する趣旨の意見書等を可決するなど、市長の立場としては、慎重な対応を余儀なくされたところです。

就任以来、国の施策であっても、疑問や課題は解消した上で、透明性や信頼性の高い議論や協議が必要だと考えてきました。市長の役割は、何よりも、市民の生命、財産と暮らしを守り、安心・安全なまちづくりを進める事であり、国に対し、市民がこの問題に対して理解を深めるための、情報提供を強く促してきたところです。正確な情報の収集に努めるとともに、課題を整理するため、国に対し、「要請書」、「質問書」、「確認事項」、「協議の場」と、さまざまな形で国とやりとりをしてきました。

一方、環境アセス、葉山港の利用、再編交付金など法に基づく行政手続きについては、法令にのっとり適切に対応して参りました。行政の長としての行動に間違いはなかったと考えています。

しかしながら、国による着工前と現状における私の発言の内容について、市民のみなさまに、十分な理解が得られていないことについては、誠に申し訳なく思っております。

この問題は民意が大変重要です。私は、国のすることだから問題ないという風潮が広がること、そして将来的な保証が得られるかどうかへの危機感を抱いています。私たちは、地域社会の未来を自分たちの意思と行動でつくりあげていかなければなりません。基地整備に進む国の動きをふまえ、市民生活への影響の軽減や期待の具現化にこれまで以上に尽力してまいります。

それでは、本日提案いたしました議案についてご説明いたします。

議案第41号から議案第44号は、人事案件で法令の規定により議会の同意を得ようとするものです。議案第45号は、西之表市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について、議案第46号は、鹿児島県後期高齢者医療広域連合規約の変更についてです。

議案第47号は、令和6年度西之表市一般会計補正予算(第3号)

についてであります。歳入歳出予算の総額に5億7,888万3千円追加し、予算総額を150億538万8千円とするものです。

予算の主なものについてご説明いたします。

歳入では、普通交付税が確定したことに伴い、地方交付税を2億1,317万6千円減額しております。また、令和5年度決算に伴う収支の確定により、繰越金に5億1,066万9千円を追加しております。

歳出では、補正予算第3号の財源調整等として積立金に3億3,936万円など、総務費を3億5,371万2千円、新規事業の地域介護基盤整備事業や介護人材確保事業の拡充など、民生費を6,222万9千円、畜産経営緊急対策支援事業の新規事業など、農林水産業費に7,604万円を追加しております。

議案第48号から第53号は、それぞれの特別会計に必要な補正を行おうとするものであります。

次に、認定第1号から認定第7号までは、令和5年度一般会計及び特別会計等の歳入歳出決算認定であります。

令和5年度一般会計及び特別会計の収支状況は、歳入決算額19億1,500万5,892円、歳出決算額183億7,983万

1, 268円で、歳入歳出差引額は7億3,517万4,624円、翌年度へ繰り越すべき財源3,266万3千円を控除した実質収支額は7億251万1,624円となりました。

一般会計の収支状況は、歳入決算額144億2,162万6,056円、歳出決算額138億985万3,913円、翌年度へ繰り越すべき財源3,266万3千円を控除した実質収支額は、5億7,910万9,143円となり、実質収支は黒字であります。

前年度の決算額に対しまして、歳入は13.2%、歳出は13.1%それぞれ増となりました。

特別会計では、歳入決算額46億9,337万9,836円、歳出決算額45億6,997万7,355円で歳入歳出差引額は、1億2,340万2,481円となり、翌年度へ繰り越すべき財源はないことから、実質収支額も同額となりました。

前年度の決算額に対しまして、歳入は2.0%、歳出は0.9%それぞれ増となりました。

なお、普通会計における経常収支比率は、84.5%で対前年比7.1ポイント減少しております。健全化指標のうち、実質赤字比率、連結実質赤字比率及び将来負担比率は発生しておりません。

実質公債費比率の3か年平均は9.0%で、対前年度比0.4ポイント減少しております。

財政の健全化は保たれており、各指標は減少しております。

今後とも、財政の健全さを損なうことのないよう、細心の注意を払って参ります。

報告第11号、令和5年度公益社団法人西之表市農業振興公社経営状況報告については、地方自治法第243条の3第2項の規定により報告するものであります。

なお、会期中に追加議案を予定しております。

以上、ご審議のほどよろしく申し上げます。

令和6年9月3日

西之表市長 八板 俊輔